

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 2 月 1 日

事業所名:児童デイサービス・アニマート鹿屋あさひばる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		
	2	職員の配置数は適切である	5	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0		最低限の整備はおこなっているが、今後も必要に応じて都度整備していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	朝礼や昼礼で反省や改善案の検討は都度行っている。今後も引き続き継続していきたい。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	年一回行っている。活動内容やサービス内容についてのアンケート調査も実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	事業所のホームページに公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		現時点では行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	毎週一回は実施できるように計画を立てて行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	支援を楽しみながら学ぶ機会を作ることができるよう検討したり保護者様のニーズに沿えるよう活動内容の見直しを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	事業所独自のアンケートツールを用いて行っている。	今後もより細かな状況把握に努めていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	充実した活動となるよう会議で検討し立案を行った。	今後も引き続き行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	毎月検討会議を行い活動内容の見直しを行った。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	子供一人一人の特性や課題点に沿って活動内容を検討し作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	前日の振り返り等を 朝礼、昼礼にて打ち合わせを行った。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	毎日振り返りを行い気づきをスタッフに伝えている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	定期的なモニタリングにおいて評価内容と現状に沿った見直しを行った。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達支援管理責任者が出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	学校の協力を得ながら適切な連携をとることができた。	今後とも学校から依頼があった際は積極的な対応ができるよう努めている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5		医療的ケアが必要な子供の受け入れを行っていないため未整備である。今後検討していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	5		障害福祉サービス事業所への移行対象の子供がいなかった為、情報提供の実績はないが、本年度は移行予定の子供がいる為積極的に連携を図っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		コロナ禍の為、研修や会議等には参加できなかった。コロナ終息時には積極的に参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		計画をしていたがコロナ禍の影響で実施を控えるに至った。今後タイミングや方法を考慮し計画していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5		コロナの影響でオンライン会議となったとのことなので今後は積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	連絡帳を用いて状況など共有する以外に電話や面談などで課題点や支援方法について共通理解ができるよう取り組んでいる。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3		個別での相談支援は行ってきたが、ペアレント・トレーニングはできていない。今後の課題として取り入れていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に細かく説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	連絡帳を用いて状況などを共有する以外に、電話や面談などで相談支援を行っている。	今後も事業所側から不安や心配事がないかなどアプローチを取りながら積極的に支援を行っていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0		11月23日に親子で参加できるイベントを実施した。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	ご意見があった場合は迅速に対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	定期的に通信を発行している。活動状況の写真を用いて分かりやすく提供を行っている	従来以上に窓口を明確にし、現状より迅速に対応できるよう努めていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		未実施である。今後企画検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		事業所内での周知はできたが、保護者への周知までは至らなかった。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	毎月、地震・水害・災害など様々な想定で自主避難訓練の計画を立てている。	今後も引き続き訓練を行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	定期的に研修を行う事ができた。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	5		今現在、対象の利用者がいない為、計画書への記載は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5		今現在利用している中にはアレルギーがある子供がいらない為、特別な対応はしていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		ヒヤリハットについて周知は出来ていたが、作成が不十分であった為今後は積極的に活用していきたい。